

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
AM12Z301	早期体験実習 (Introduction to Clinical Practice) *大分を創る科目(Oita Development Course)					導入教育科目 福祉・地域	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
必修	1	1年	医学部医学科	通年		日本語		複数(共同)					
担当教員	氏名 医学教育センター：山本、二宮、医療倫理学：今井 E-mail kyoko-yamamoto@oita-u.ac.jp 内線 6761												
授業の概要	医療面接や身体診察といった基本的臨床技能に触れ、生成AIを含む新しい技術を医療者として適切に活用する姿勢を学ぶ。これらの学びを通して、自身が目指す医師像を見つめ直し、生と死に向き合う医療の基盤となる多様な価値観への理解を深める。この授業では、対話・体験・振り返りを重視し、医療者として求められるプロフェッショナリズムの形成を目指す。												
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	基本的な医療面接を実施できる。												
目標2	聴診、血圧測定、BLSといった基本的な身体診察・手技の目的を理解し、医学生として適切に実践することができる。												
目標3	生成AIを含む情報・科学技術の特性を理解し、医療者として適切に活用するための基本的な考え方を説明できる。												
目標4	対話を通じて考え方が多様であることに気づき、他者を尊重しようとする姿勢を示すことができる。												
目標5	生と死に向き合う医療において、医師が果たす役割について自分なりの考えを述べることができる。												
目標6	医療が社会の信頼や善意によって支えられていることを理解し、医学生として求められる態度について説明できる。												
目標7	解剖実習を含む医学教育の場における倫理的配慮の重要性を理解し、適切な態度をとろうとすることができる。												
目標8	学修や体験を振り返り、自身の考えや課題を言語化することができる。												
目標9	現時点での理想の医師像について言語化することができる。												
目標10													
各DPへの関連度(計10)							1	2		5		2	
授業の内容													
1	プロフェッショナリズムを具体化する												
2	プロフェッショナリズムを具体化する												
3	医療面接入門												
4	身体診察入門(BLS実習)												
5	AIの未来												
6	理想の医師とは												
7	理想の医師とは												
8	人生会議をしてみよう												
9	生と死をつなぐ医療												
10	生と死をつなぐ医療												
11	意思決定を支える医療												
12	学びの場にある『いのち』												
13	学びの場にある『いのち』												
14	学びの場にある『いのち』												
15	アンプロ												
ラーニング目標	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	グループディスカッションを通して、互いの考えを共有し合う。 シミュレータや学生同士の相互実習(模擬診療、血圧測定等)による体験型学習を行う。 課題レポートの提出。	工 夫 そ の 他 の	LMS(Moodle)の活用(レポート提出)									
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	事前にMoodle上に掲載された資料で予習する(5h) 基本的な医療面接、胸部診察法および血圧測定の方法について、事前学習を行う(7h)											
	事後学修	関連書籍や資料を用いて復習を行う(11h)											
	想定時間合計	23											
教科書	教科書を指定しない												
参考書	参考書を指定しない												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題レポート・成果物	70%										
グループディスカッションの態度	30%											
実習科目であり、出席は必須。 早期体験実習（前期）と併せて総合評価を行う。												
注意事項	<p>チュートリアル室とスキルスラボセンターでは、使用規則を遵守すること。</p> <p>事前学習をして授業に臨むこと。</p> <p>レポート・成果物は期限内に提出すること、期限を過ぎたものは受け取らない。</p>											
備考	<p>授業の詳細、グループワークの班分けはコース開始前に通知する。</p> <p>生成AIの利用については本学の「生成AIの利用に関する注意事項について」に準ずる。</p>											
リンク	<p>Moodle</p> <p>URL</p>											
担当教員の 実務経験の 有無	有無											
教員の 実務 経験	医師 臨床心理士											
実務経験を いかした教 育内容	総合内科専門医、消化器外科専門医として、基本的な医学的知識および診察方法等を指導する。 家庭医療専門医として、プロフェッショナリズムの指導を行う											